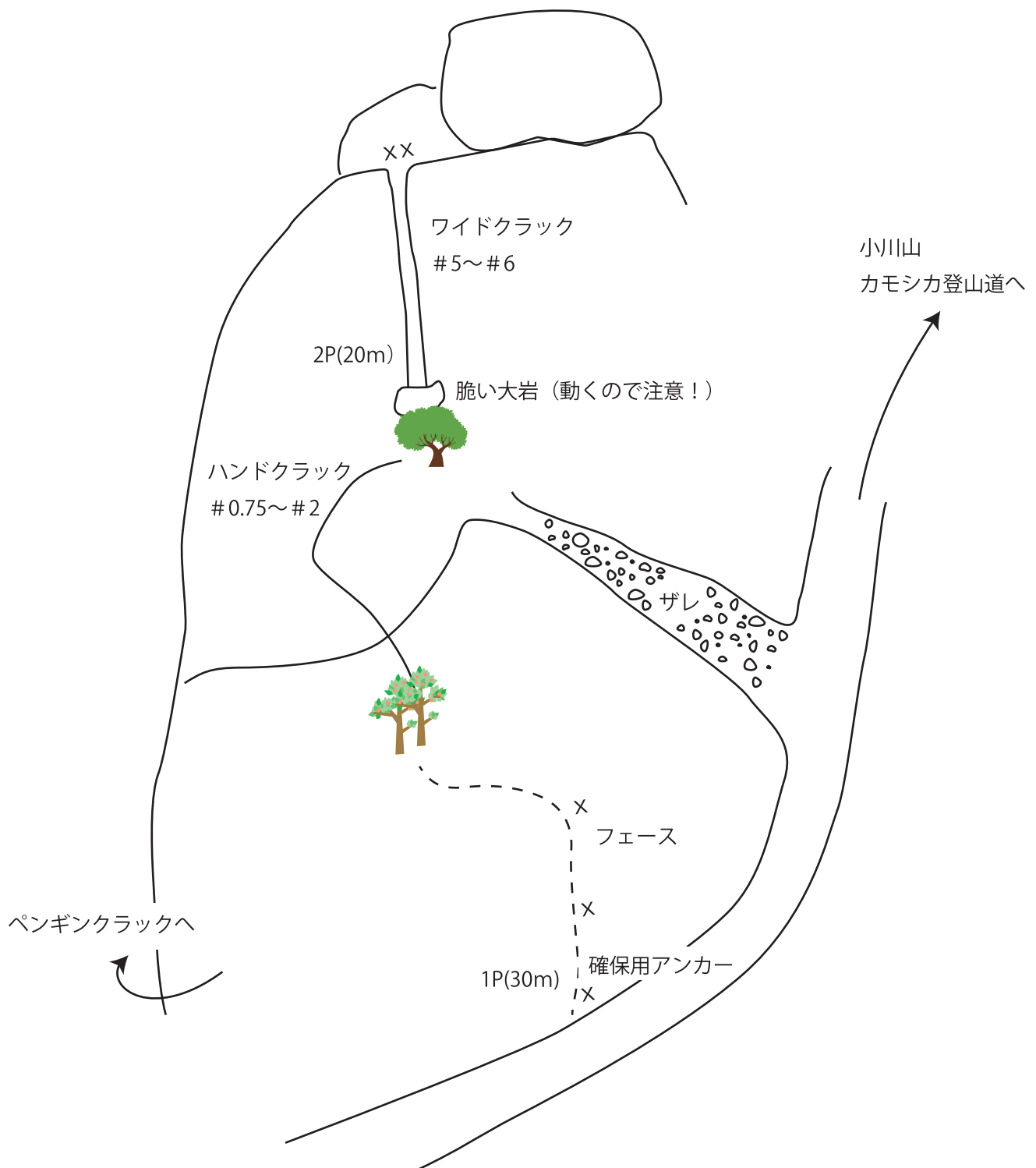


「LS へようこそ」

2 ピッチ 5.10a~b 50m ペンギン岩・北面フェース



涸沢・仏壇岩 「LSへようこそ」 2ピッチ 5.10a/b

アプローチが1時間半から2時間掛る小川山エリアの中でも遠いエリアにある仏壇岩

1ピッチ目(5.10a/b) 30m

確保ボルトからスタート。ハンドクラック。

ハンドクラック上のスリングを巻いた灌木でビレイ。

2ピッチ目(5.10a) 20m

ビレイ点の灌木からスタートするが、すぐ上に大きな浮き石がある。思わず手をかけたくなるが動くので、慎重に石を避け、灌木伝いに上のワイドクラックからハンドクラックへ。

終了点には残置のカラビナを設置しました。

必要ギア：記載していません（詳細が必要な方は次頁の詳細版を参照ください）

アプローチと下降について

下からのアプローチ：

金峰山への登山道を行きフェニックスの大岩手前の涸沢に入り、左俣をペンギン岩のペンギンクラックを目指し登る。クラック右側のガレた沢をもう少し登った所が取付き点。

周辺は浮き石だらけなので、行動には十分な注意が必要。約1時間30分

上からのアプローチ：

小川山への登山道を登り登山道脇の木に赤、白のテープでマーキングした所を小川山に向かって左の林の中を10m位進み、崖の上から懸垂でペンギン岩の基部へ下降する。支点は木で確保用に打ったボルト（1本）があるのでそれが目印です。 約2時間

下降・下山

登攀終了後は小川山の登山道へ出て下山というのが安心・安全でも良いでしょう。

壁を下降する場合は50mロープ2本でギリギリ取り付きへ、60mロープならば安心。

50mロープ1本だと下降は出来ないなので2本必要。

開拓者：香取 純、神田倫子ほか

涸沢・仏壇岩 「LSへようこそ」 2ピッチ 5.10a/b (詳細版)

アプローチが1時間半から2時間掛る小川山エリアの中でも遠いエリアにある仏壇岩

1ピッチ目(5.10a/b) 30m

確保ボルトから上に見える2本のボルトへ向かい少々脆い易しいフェースを登る。

2本目のボルトから草付きを左上、灌木帯の上に左上するクラックが見える。

ここからは前傾したクラックを登る。

かぶっているのが少し威圧感があるが、2-3手で被った部分を乗越し上の緩傾斜のクラックを右上しスリングを巻いた灌木でビレイ。

2ピッチ目(5.10a) 20m

ビレイ点の灌木からスタートするが、すぐ上に大きな浮き石がある。思わず手をかけたくなるが動くので、慎重に石を避け、灌木伝いに上のワイドクラック(20cm幅くらい)へ。

広いのでカメラの#6が最低ふたつは無いとプロテクションが取れない。(3個あれば心強いが、無い場合は下のカムを移動)。

ジャムができないため苦しいが、クラック外側のカチやフレークを使ってずり上がる。

やがてクラックは狭くなり、ハンドサイズになった上が終了点。残置のビナを設置しました。

必要ギア：カメラロット#0.75～#2と#6を2本～3本

アプローチと下降について

下からのアプローチ：

金峰山への登山道を行きフェニックスの大岩手前の涸沢に入り、左俣をペンギン岩のペンギンクラックを目指し登る。クラック右側のガレた沢をもう少し登った所が取付き点。

周辺は浮き石だらけなので、行動には十分な注意が必要。約1時間30分

上からのアプローチ：

小川山への登山道を登り登山道脇の木に赤、白のテープでマーキングした所を小川山に向かって左の林の中を10m位進み、崖の上から懸垂下降でペンギン岩の基部へ下降する。支点は木で確保用に打ったボルト(1本)があるのでそれが目印です。 約2時間

下降・下山

登攀終了後は小川山の登山道へ出て下山というのが安心・安全で良いでしょう。

壁を下降する場合は50mロープ2本でギリギリ取り付けへ、60mロープならば安心。

50mロープ1本だと下降は出来ないなので2本必要。

開拓者：香取 純、神田倫子ほか